

素形材事業部

遠心力鑄造熱分解管

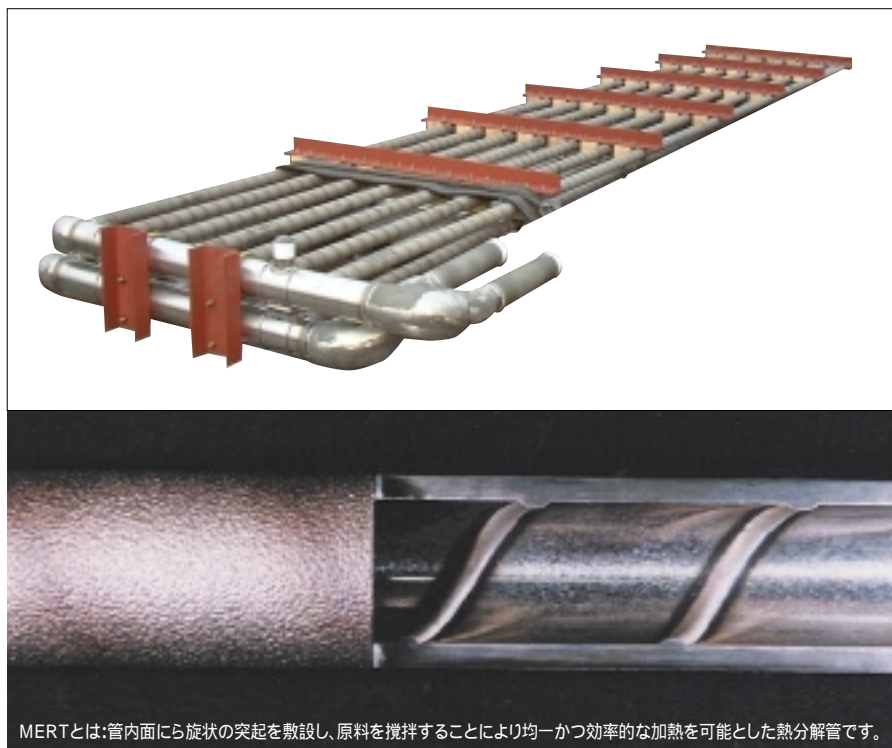
MERT:Mixing Element Radiant Tube

石油化学製品の主原料であるエチレンやプロピレンは、高温に加熱された熱分解管でナフサやエタン等の炭化水素を熱分解して製造されます。1999年度の環境報告書で紹介しましたMERT(エチレン・プロピレン製造プラント用熱分解管)は、その後、国内外48の分解炉で採用されてきました。

(2001年6月現在、国内17炉、海外31炉)
これらMERTを使用した製造プラントでは、

- ① 燃料消費量約4%削減
- ② メンテナンスに係わる燃料消費量およびCO₂排出量の半減等、省エネルギー及び環境負荷低減

を実現し、エネルギー多消費型の石油化学工業において高い評価を得ています。

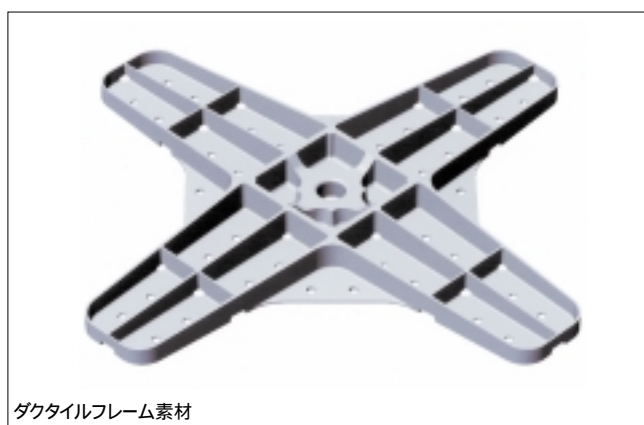


MERTとは:管内面にらせん状の突起を敷設し、原料を攪拌することにより均一かつ効率的な加熱を可能とした熱分解管です。

ダクタイルフレーム

ダクタイルフレームとは、のり面(傾斜地)の安定、地すべり抑止を目的に使われるアンカー工法用の受圧板です。従来は鉄筋コンクリート系の商品が主流でしたが、ダクタイルフレームは球状黒鉛鑄鉄製で、クボタの鑄造技術により軽量化とともに緑化に適した形状を実現しました。

近年、のり面の緑化は地球温暖化対策として各方面で促進されていますが、ダクタイルフレームは自然にとけ込み、防災と緑化を兼ね備えた環境調和型の商品です。さらに、球状黒鉛鑄鉄は100%のリサイクルが可能で、環境への負荷を最小限にとどめる循環型素材でもあります。



ダクタイルフレーム素材



施工・植栽例